

これからも 一緒に ふらつく

ふらつくは、今年で、9年目。来年度は、10年目の節目を迎えることになりました。

一年ずつ、年を重ね、新しい仲間との出会い・仲間の飛躍の旅立ちを喜び、「働く」を通じて、仲間と成長を共に歩んできました。

ふらつくの1日は、早く、パンの焼ける匂いからスタートします。仲間の出勤時間は、それぞれであり、仲間に合わせたスケジュールが決められています。公共の電車・バスを利用し、自主出勤をすすめ、今では、バスの運転手さんと、顔なじみになっています。

時には、お休みだと知らず、いつものバス停にいないと、心配の連絡が、バス会社から連絡を頂くこともあります。



なにげない日常の生活の中で、地域に自然に溶け込んでいる仲間たちがいまいます。いつも、きれいにして

くれてありがとう。」つつじが岡公園を清掃する仲間に言葉を下さる老夫婦。

「ふらつくのパンは、おいしい。子供も大好き。」と、遠方からパンを買いに来て下さるお母さん。

「クッキープレゼントで・・・」照れくさそうな男子中学生。

「会議があるので、おいしいお弁当をお願いします。」役場からの注文。たくさんの「ありがとう」を頂いて、毎日歩んでいます。

ふらつくへの「ありがとう」を生み出すのは、ひとり、1人の仲間の力です。ひとりの力は、小さいけれど、協力し合えば大きな力となって、立派な仕事として成り立ちます。

また、同じ法人の仲間として、陽光園・第二陽光園、仲間の力も忘れて

はいけません。プラスチック・リサイクル・配達・・・どれも大切な仕事です。

お互いの事業所の強みを生かした、取り組みを一緒に行い、みんな地域の中での「はたらき」をつくりだしていただけるよう考えています。



もう一つ、ふらつくとして、大切に考えていることがあります。

小・中・高学生（支援学校・学級）を含め、将来の選択肢の一つとして、ふらつくのような働

き方があることを知ってもらうこと。学生の時代から「働く」について考えてもらえる場所でありたいと考えます。

「ういず」の子供さんが夏休み期間、昼食のランチを兼ねて見学に来てくれました。世代間を越えた交流を今後も続けていきたいです。

これからも、ふらつくは、たくさんの人々に支えられて歩んでいきます。

一緒に問い、考え、歩んでいく・・・。時に泣いて、時に笑って・・・。でこぼこしながらも楽しく毎日をお過ごし場所。「ふらつく」でありたいと願います。

サービス管理責任者
勤続20年 松田 育子